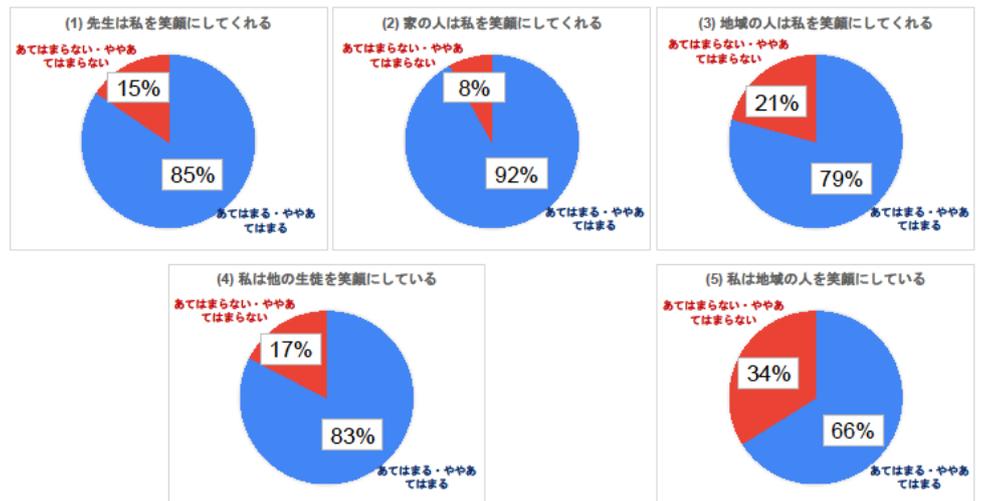


地域学校協働活動推進員の塚本です。

布水中学校創立40周年記念文化発表会の行事として、学校運営協議会で、11月2日3、4時限を使い、『「笑顔で登校、笑顔で帰宅」をめざして家庭・地域と協働する学校づくり』のスローガンについて、パネルディスカッションを行いました。その後、生徒たちは教室に戻って、「自分たちは何をできるか」熟議をしていただきました。



「笑顔で登校、笑顔で帰宅」をめざして家庭・地域と協働する学校づくりに関する生徒の意識調査



パネルディスカッションを行うにあたって、事前に意識調査を行いました。その結果について、パネリストに意見を伺いました。

パネリストは、学校を代表して松田校長。保護者を代表して山岸 PTA 会長。地域を代表して学校運営協議会 端崎会長。そして、生徒代表として生徒会役員の4名が登壇し、司会を塚本がさせていただきました。

最初に、意識調査の結果について、(1)の結果について、松田校長にお話しいただきました。先生は時として、厳しい指導をすることもあり、決して生徒を喜ばせることばかりでないのに、笑顔にしてくれるが85%という結果が意外でした。(2)を山岸会長にご意見いただきました。笑顔にしてくれるが92%。子どもと笑顔で会話できることは、親にとって嬉しいことです。(3)を端崎会長に意見をいただきました。見守り隊で声をかけていいのかな、嫌がられないかなと思っていたのですが、約8割の人が肯定的にとらえていてくれ驚きでした。これからもっと会話をして行きたいです。(4)を前期生徒会、(5)を後期生徒会のみなさんにご意見いただきました。生徒間では笑顔で会話する機会が多く楽しいという意見で、地域の人には、34%をとらえ、もっと笑顔であいさつをして行こうという呼びかけもありました。

パネリストからは、

- ・ 学校でどんな時、笑顔になりますか？
- ・ どんな時、地域の方はあなたを笑顔しますか？
- ・ 地域のイベントとかに参加してほしいのですがどうでしょうか？

などの質問がありました。

会場にいた3年生や保護者、地域の方の意見や質疑を受け、パネルディスカッションを終了しました。その後、会場にいた3年生は教室に戻りオンラインで様子を見ていた1・2年生も、教室で『笑顔で登校、笑顔で帰宅』するために、自分ができることは何か」をテーマに熟議をしていただきました。意見としてこれらの発表がありました。

- ・ 学校生活での楽しみを見つけることを心がける。
- ・ 自分自身が元気であること。
- ・ 一つ一つの授業を楽しいと思えるように学力を身につける。
- ・ 1～3年生全体での関わりや地域交流を含めたイベントの企画を増やす。
- ・ 学校だけでなく、地域の人に対しても挨拶をする。
- ・ 友達と登下校。一人を作らない。
- ・ 地域の行事やイベントに積極的に参加する。
- ・ 笑顔であいさつ。いろいろな行事への積極的な参加。
- ・ 元気な声であいさつ。
- ・ ごみ捨てに行く。
- ・ 生活習慣をしっかりとる。

など、多くの意見や感想が出てきました。

今回のイベントで、生徒は地域の一員で、もっと繋がりを求めているのだということを感じました。また、横並びで橋渡しをするのが、推進員としての役目と思っていましたが、生徒が真ん中で、先生方がいて、保護者がいて、地域の方がいる。という同心円の学校づくりをめざしていくことが、コミュニティースクールとして、生徒が輝けるのではないかと感じました。

「笑顔で登校、笑顔で帰宅」

をめざして 家庭・地域と協働する学校づくり

お問い合わせは（火曜日午前・金曜日午後）

布水中学校運営協議会

地域学校協働活動推進員 塚本 茂樹

野々市市押野2丁目100番地

電話：076-248-0039

E-Mail： fusuityu_csd@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp